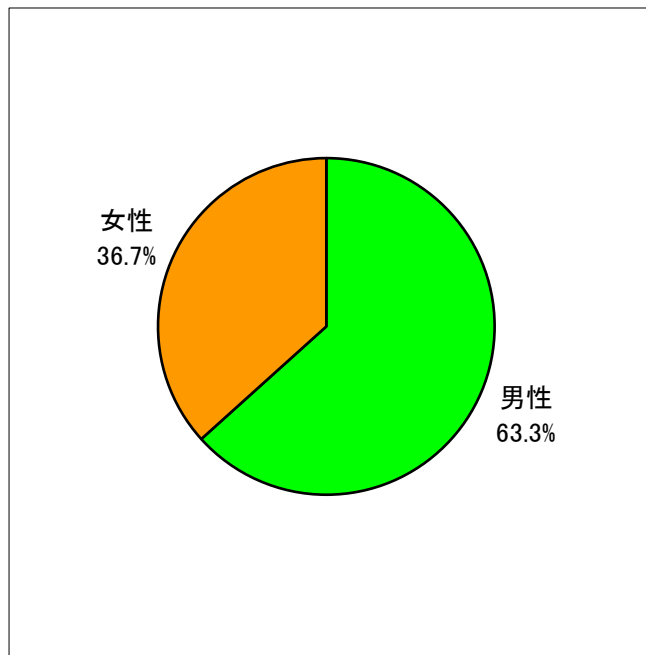


【卒業時アンケート(2025年度)】

回答数 120件

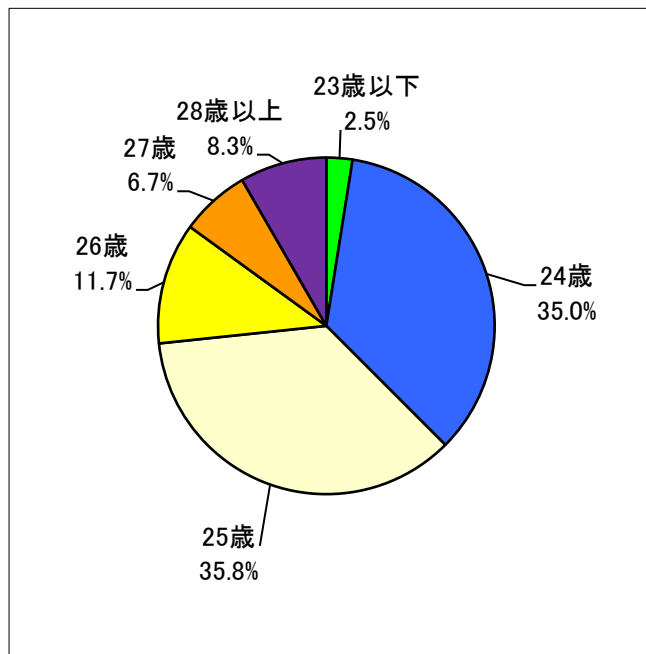
Q1 性別

男性	76	63.3%
女性	44	36.7%
合計	120	100.0%



Q2 年齢

23歳以下	3	2.5%
24歳	42	35.0%
25歳	43	35.8%
26歳	14	11.7%
27歳	8	6.7%
28歳以上	10	8.3%
合計	120	100.0%



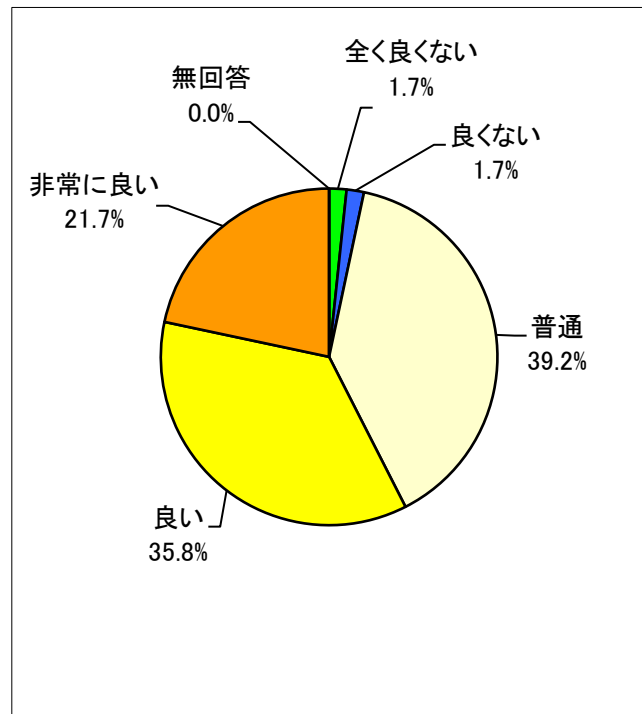
【卒業時アンケート(2025年度)】

回答数 120件

Q9 本学の通常授業(講義、実習)の満足度と、良かった点及び改善して欲しい点について教えてください。

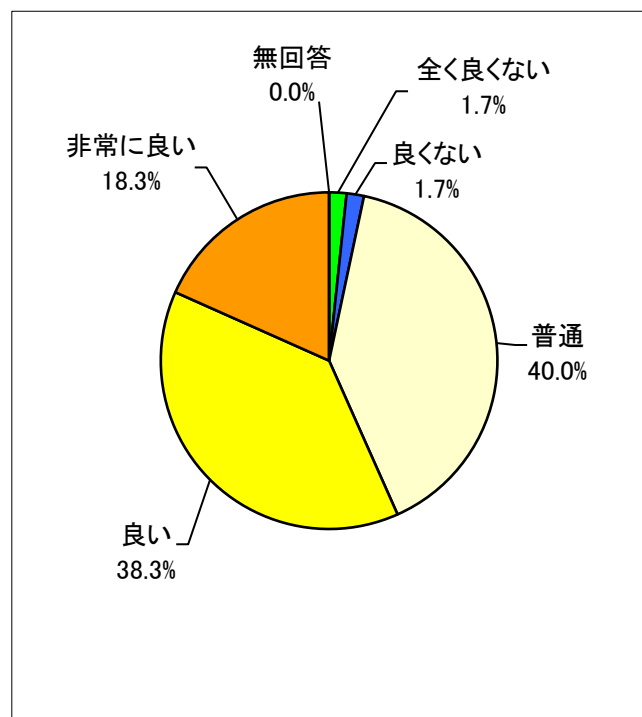
Q9-1 【基礎科学】について

1	全く良くない	2	1.7%
2	良くない	2	1.7%
3	普通	47	39.2%
4	良い	43	35.8%
5	非常に良い	26	21.7%
	無回答	0	0.0%
	合計	120	100.0%



Q9-2 【基礎医学】について

1	全く良くない	2	1.7%
2	良くない	2	1.7%
3	普通	48	40.0%
4	良い	46	38.3%
5	非常に良い	22	18.3%
	無回答	0	0.0%
	合計	120	100.0%



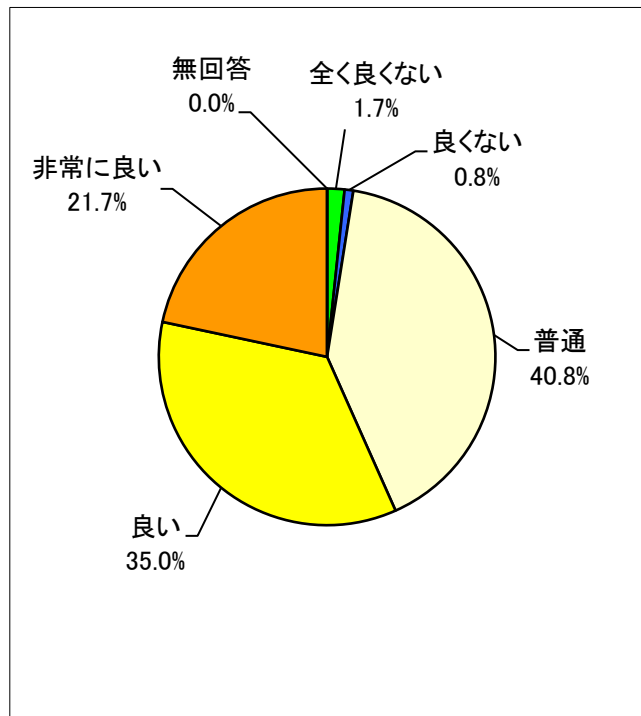
【卒業時アンケート(2025年度)】

回答数 120件

Q9 本学の通常授業(講義、実習)の満足度と、良かった点及び改善して欲しい点について教えてください。

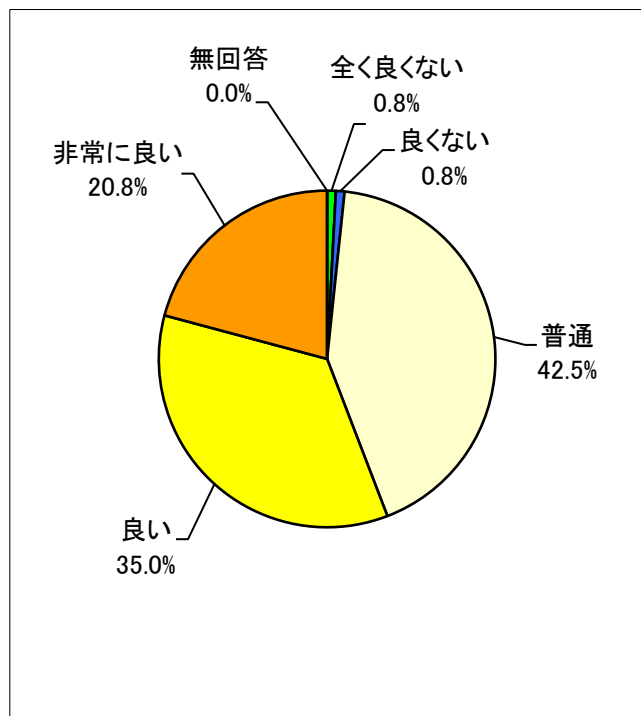
Q9-3 【行動科学・社会医学】について

1 全く良くない	2	1.7%
2 良くない	1	0.8%
3 普通	49	40.8%
4 良い	42	35.0%
5 非常に良い	26	21.7%
無回答	0	0.0%
合計	120	100.0%



Q9-4 【臨床医学】について

1 全く良くない	1	0.8%
2 良くない	1	0.8%
3 普通	51	42.5%
4 良い	42	35.0%
5 非常に良い	25	20.8%
無回答	0	0.0%
合計	120	100.0%



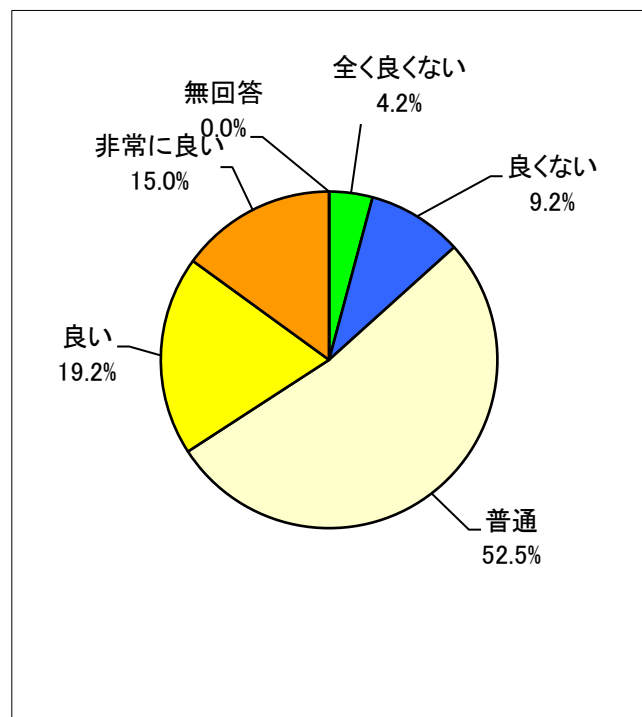
【卒業時アンケート(2025年度)】

回答数 120件

Q9 本学の通常授業(講義、実習)の満足度と、良かった点及び改善して欲しい点について教えてください。

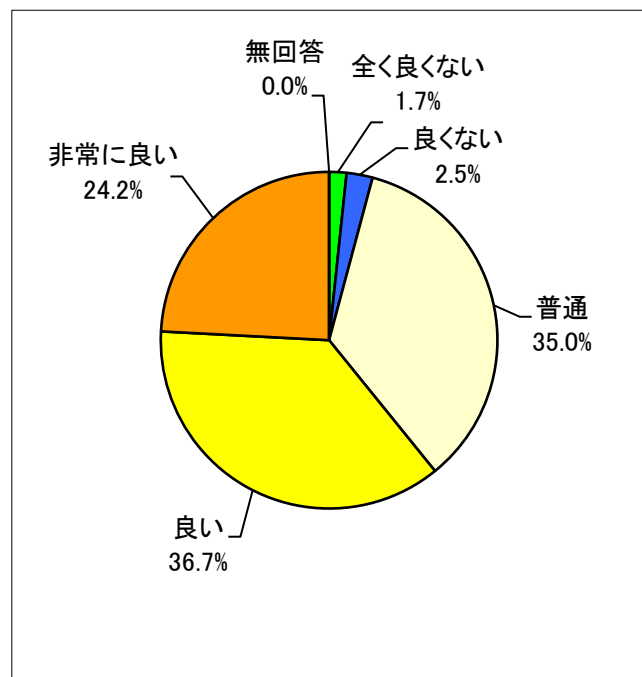
Q9-5 1年生での医学入門や看護業務実習など早期に医学に触れるプログラムはその後役に立ちましたか？

1	全く良くない	5	4.2%
2	良くない	11	9.2%
3	普通	63	52.5%
4	良い	23	19.2%
5	非常に良い	18	15.0%
	無回答	0	0.0%
	合計	120	100.0%



Q9-6 SGLはどうでしたか？

1	全く良くない	2	1.7%
2	良くない	3	2.5%
3	普通	42	35.0%
4	良い	44	36.7%
5	非常に良い	29	24.2%
	無回答	0	0.0%
	合計	120	100.0%



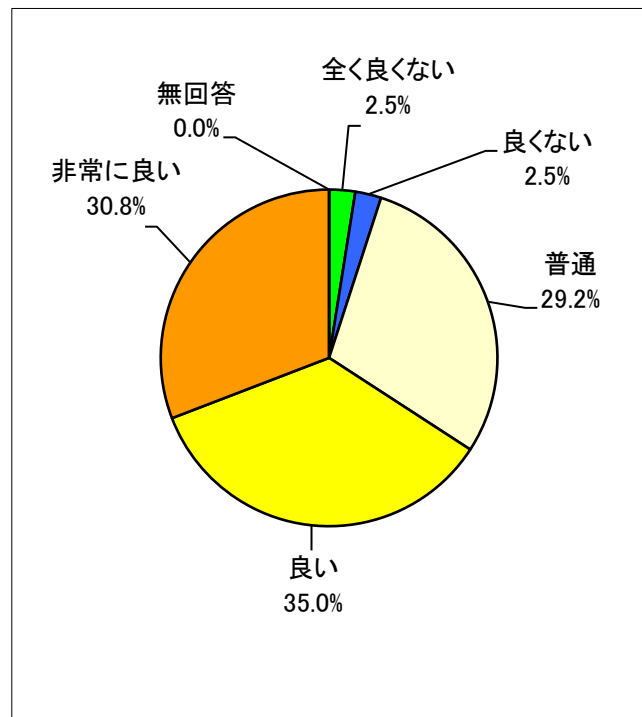
【卒業時アンケート(2025年度)】

回答数 120件

Q9 本学の通常授業(講義、実習)の満足度と、良かった点及び改善して欲しい点について教えてください。

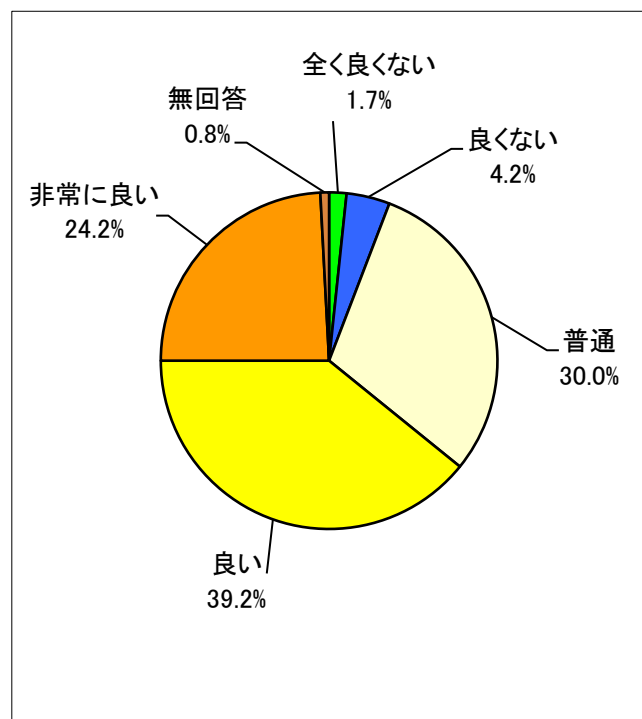
Q9-7 研究配属はどうでしたか？

1	全く良くない	3	2.5%
2	良くない	3	2.5%
3	普通	35	29.2%
4	良い	42	35.0%
5	非常に良い	37	30.8%
	無回答	0	0.0%
	合計	120	100.0%



Q9-8 臨床実習はどうでしたか？

1	全く良くない	2	1.7%
2	良くない	5	4.2%
3	普通	36	30.0%
4	良い	47	39.2%
5	非常に良い	29	24.2%
	無回答	1	0.8%
	合計	120	100.0%

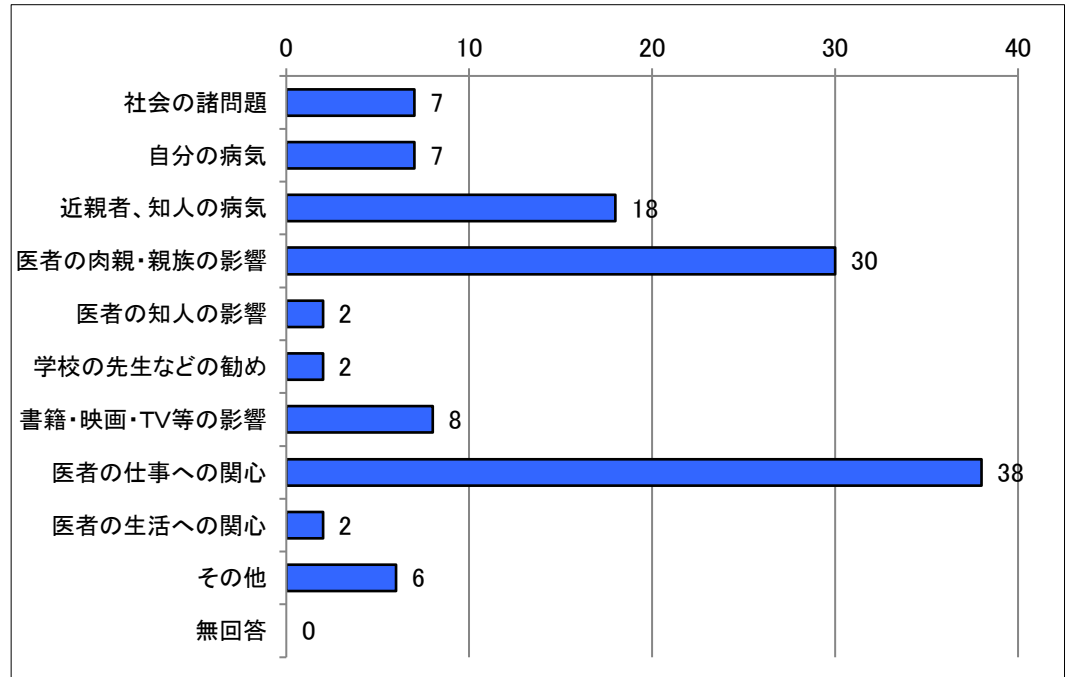


【卒業時アンケート(2025年度)】

回答数 120件

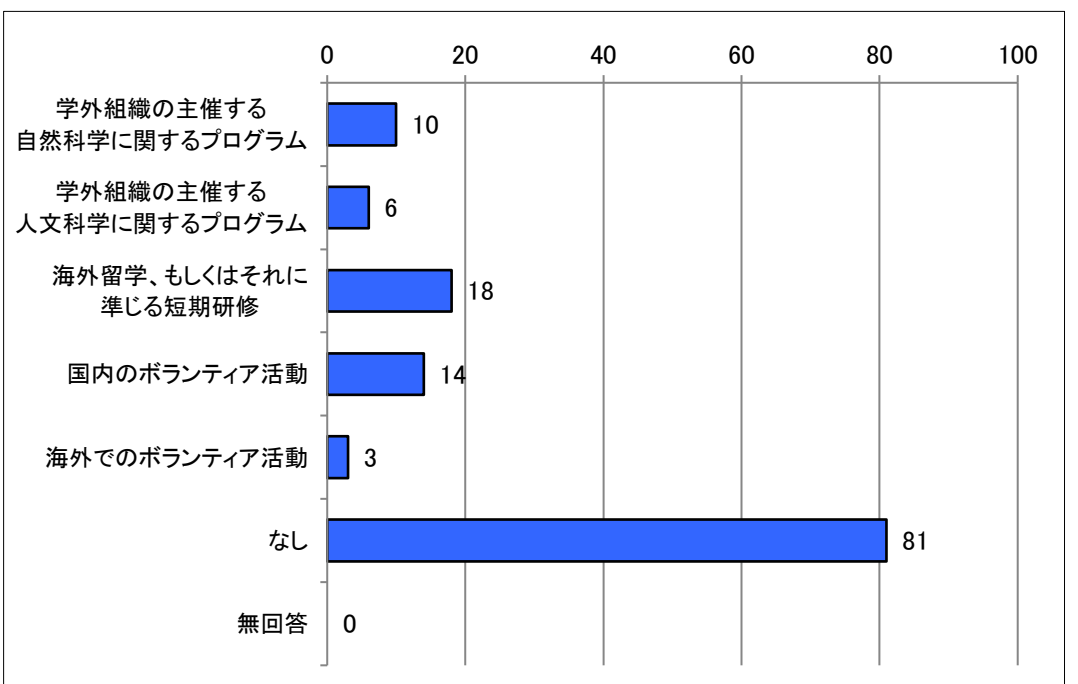
Q3 医学部に入ろうと考えた一番のきっかけは何だったと思いますか？

1	社会の諸問題	7	5.8%
2	自分の病気	7	5.8%
3	近親者、知人の病気	18	15.0%
4	医者肉親・親族の影響	30	25.0%
5	医者の知人の影響	2	1.7%
6	学校の先生などの勧め	2	1.7%
7	書籍・映画・TV等の影響	8	6.7%
8	医者の仕事への関心	38	31.7%
9	医者の生活への関心	2	1.7%
10	その他	6	5.0%
	無回答	0	0.0%
	合計	120	100.0%



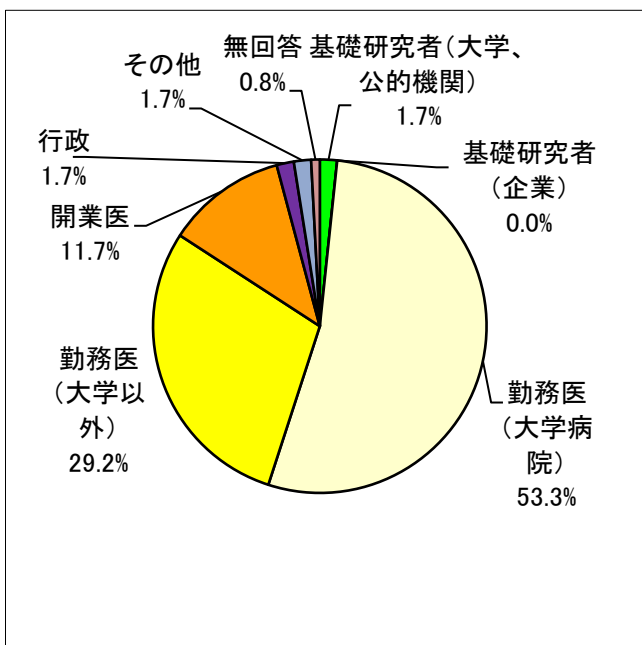
Q4 次の中で、在学中に経験したことのあるものを選んでください(複数回答可)

	学外組織の主催する自然科学に関するプログラム	10	8.3%
	学外組織の主催する人文科学に関するプログラム	6	5.0%
	海外留学、もしくはそれに準じる短期研修	18	15.0%
	国内のボランティア活動	14	11.7%
	海外でのボランティア活動	3	2.5%
	なし	81	67.5%
	無回答		0.0%



Q5 将来どのような職域に進みたいですか？

1	基礎研究者(大学、公的機関)	2	1.7%
2	基礎研究者(企業)	0	0.0%
3	勤務医(大学病院)	64	53.3%
4	勤務医(大学以外)	35	29.2%
5	開業医	14	11.7%
6	行政	2	1.7%
7	その他	2	1.7%
	無回答	1	0.8%
	合計	120	100.0%

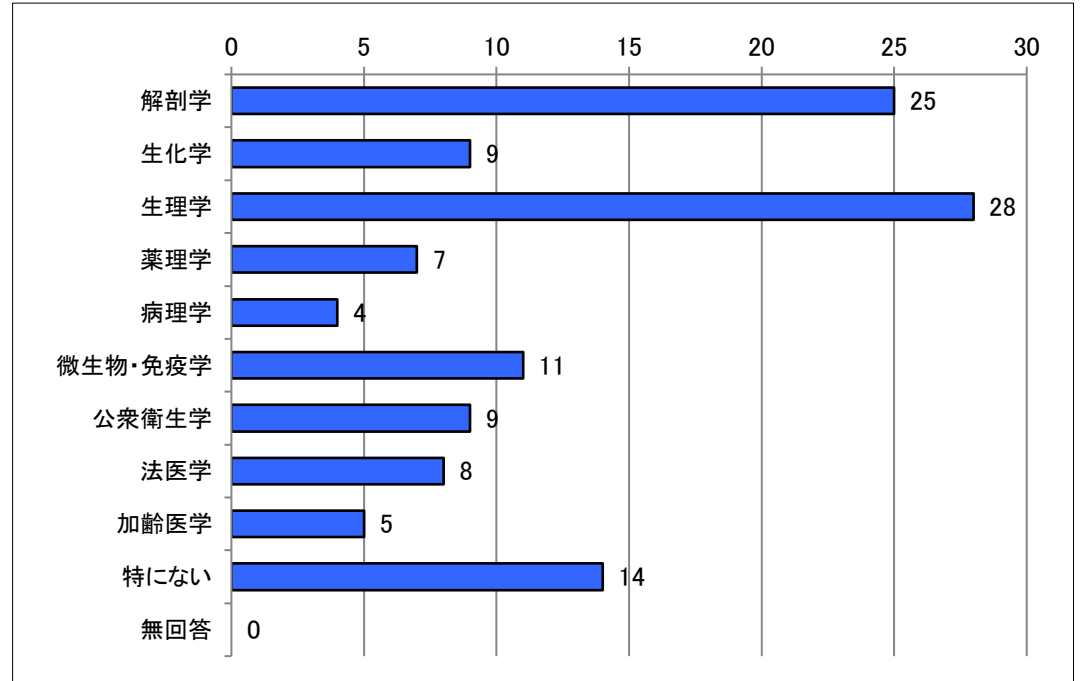


【卒業時アンケート(2025年度)】

回答数 120件

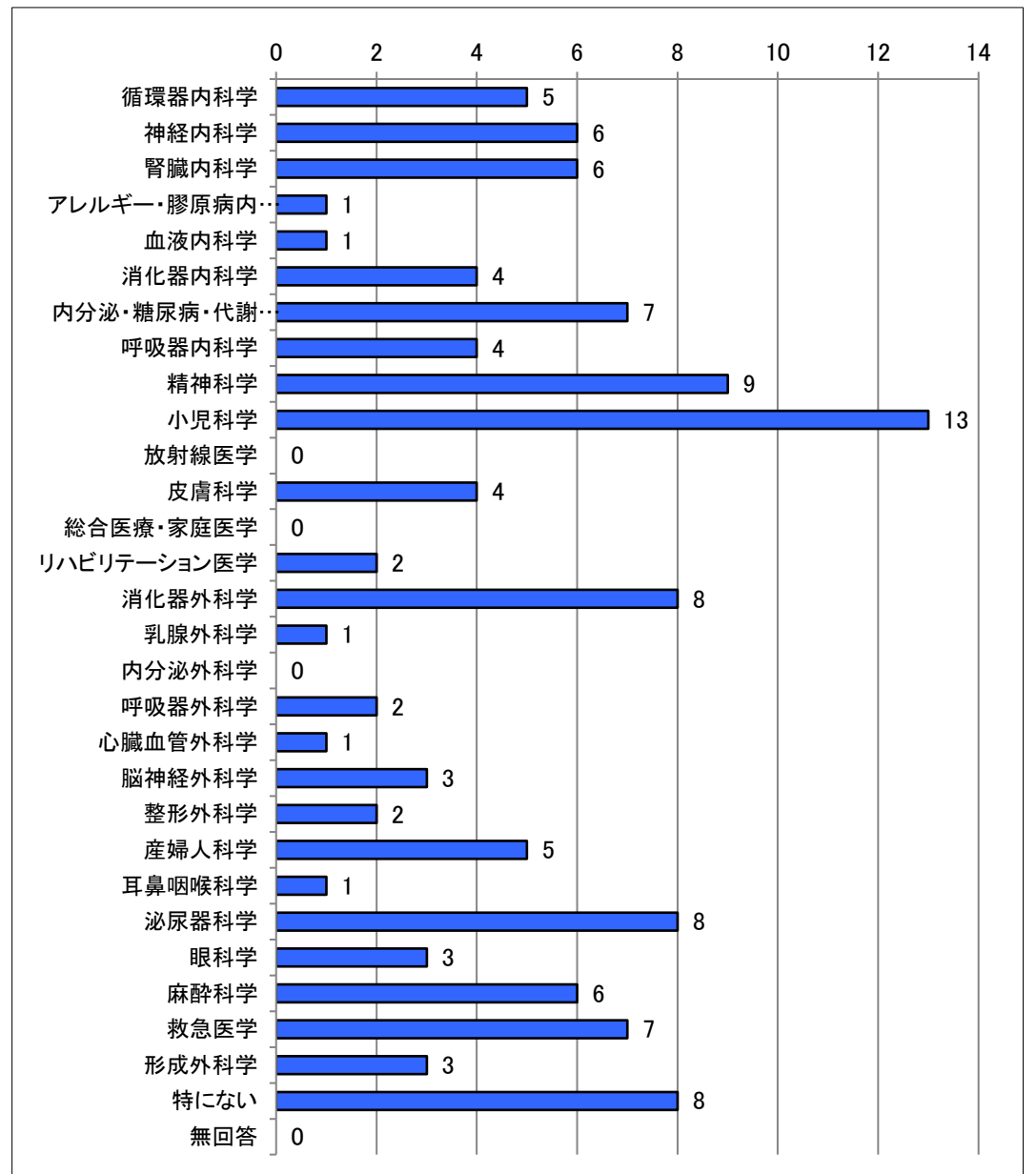
Q6 基礎医学ではどの分野に関心をいただきましたか？

1	解剖学	25	20.8%
2	生化学	9	7.5%
3	生理学	28	23.3%
4	薬理学	7	5.8%
5	病理学	4	3.3%
6	微生物・免疫学	11	9.2%
7	公衆衛生学	9	7.5%
8	法医学	8	6.7%
9	加齢医学	5	4.2%
10	特にない	14	11.7%
	無回答	0	0.0%
	合計	120	100.0%



Q7 臨床医学ではどの分野に関心がありますか？

1	循環器内科学	5	4.2%
2	神経内科学	6	5.0%
3	腎臓内科学	6	5.0%
4	アレルギー・膠原病内科学	1	0.8%
5	血液内科学	1	0.8%
6	消化器内科学	4	3.3%
7	内分泌・糖尿病・代謝内科学	7	5.8%
8	呼吸器内科学	4	3.3%
9	精神科学	9	7.5%
10	小児科学	13	10.8%
11	放射線医学	0	0.0%
12	皮膚科学	4	3.3%
13	総合医療・家庭医学	0	0.0%
14	リハビリテーション医学	2	1.7%
15	消化器外科学	8	6.7%
16	乳腺外科学	1	0.8%
17	内分泌外科学	0	0.0%
18	呼吸器外科学	2	1.7%
19	心臓血管外科学	1	0.8%
20	脳神経外科学	3	2.5%
21	整形外科科学	2	1.7%
22	産婦人科学	5	4.2%
23	耳鼻咽喉科学	1	0.8%
24	泌尿器科学	8	6.7%
25	眼科学	3	2.5%
26	麻酔科学	6	5.0%
27	救急医学	7	5.8%
28	形成外科学	3	2.5%
29	特にない	8	6.7%
	無回答	0	0.0%
	合計	120	100.0%



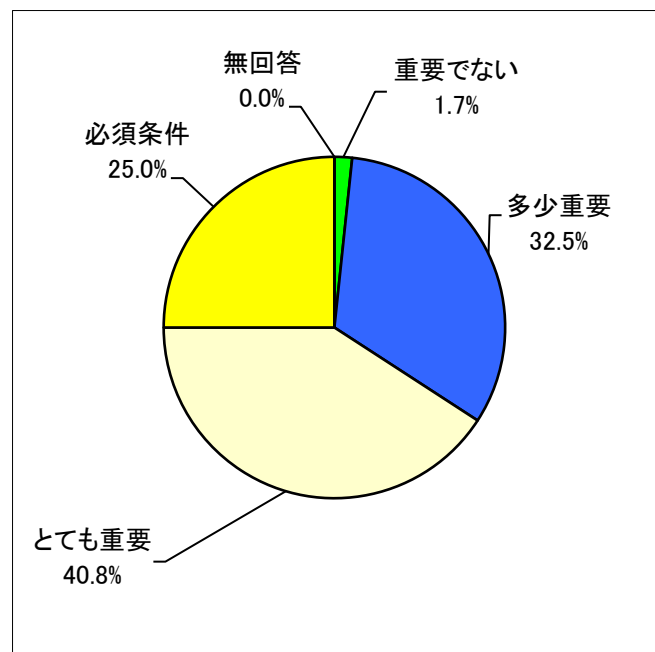
【卒業時アンケート(2025年度)】

回答数 120件

Q8 自分の将来のキャリアを考える上で次の要素はどの程度考慮しますか？

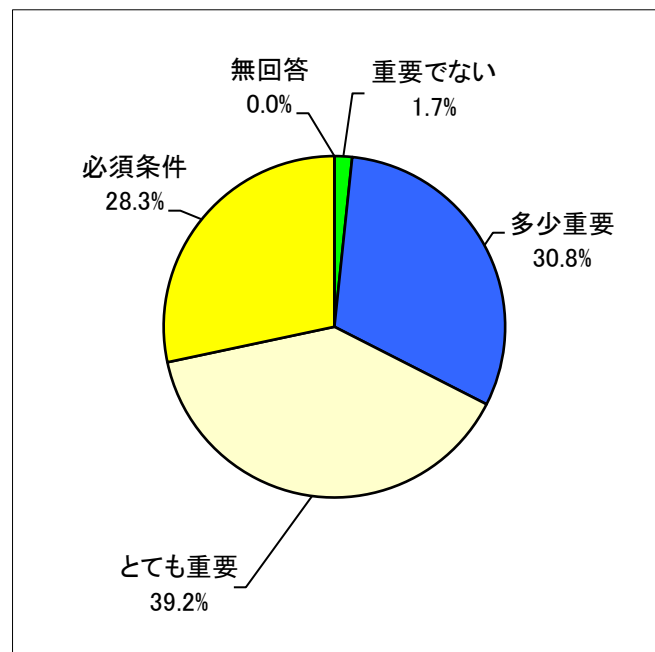
Q8-1 社会の役に立ちたい

1 重要でない	2	1.7%
2 多少重要	39	32.5%
3 とても重要	49	40.8%
4 必須条件	30	25.0%
無回答	0	0.0%
合計	120	100.0%



Q8-2 収入・経済的側面

1 重要でない	2	1.7%
2 多少重要	37	30.8%
3 とても重要	47	39.2%
4 必須条件	34	28.3%
無回答	0	0.0%
合計	120	100.0%



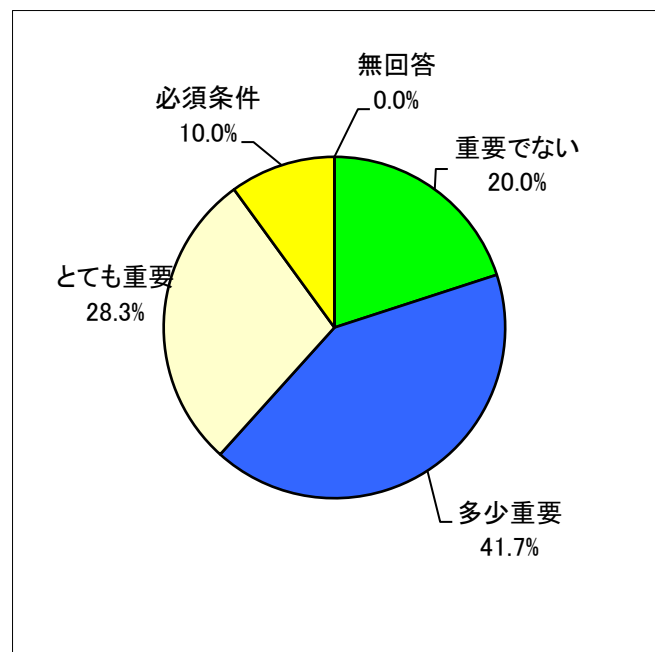
【卒業時アンケート(2025年度)】

回答数 120件

Q8 自分の将来のキャリアを考える上で次の要素はどの程度考慮しますか？

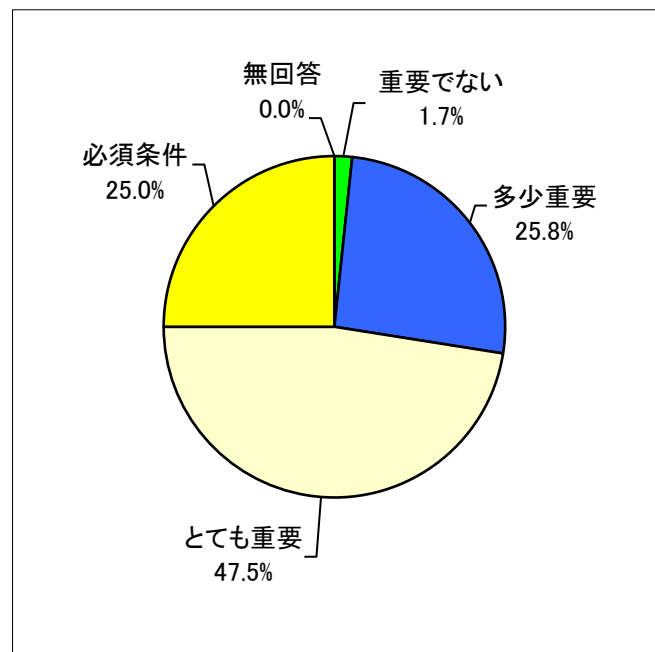
Q8-3 社会的ステータス

1	重要でない	24	20.0%
2	多少重要	50	41.7%
3	とても重要	34	28.3%
4	必須条件	12	10.0%
	無回答	0	0.0%
	合計	120	100.0%



Q8-4 安定した将来性

1	重要でない	2	1.7%
2	多少重要	31	25.8%
3	とても重要	57	47.5%
4	必須条件	30	25.0%
	無回答	0	0.0%
	合計	120	100.0%



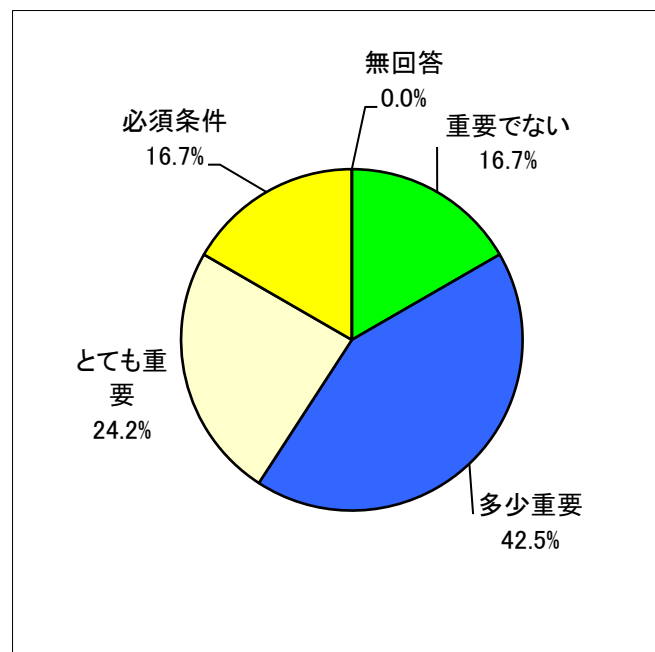
【卒業時アンケート(2025年度)】

回答数 120件

Q8 自分の将来のキャリアを考える上で次の要素はどの程度考慮しますか？

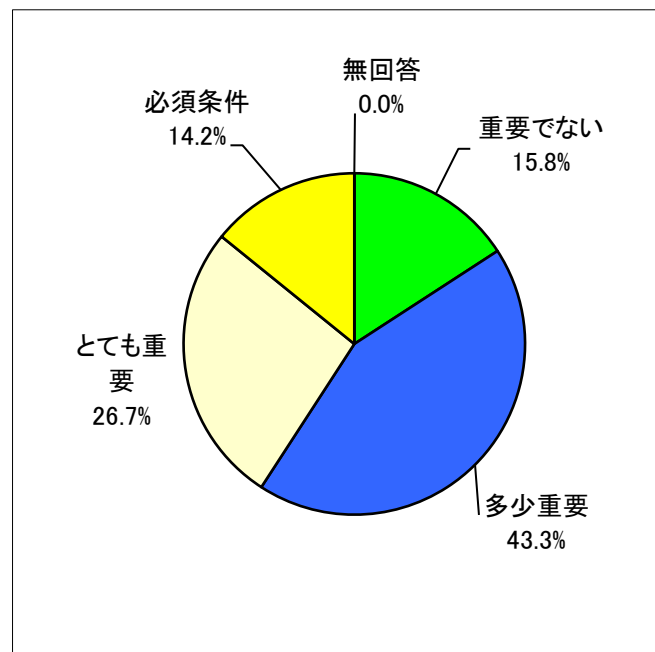
Q8-5 クリエイティブな側面

1	重要でない	20	16.7%
2	多少重要	51	42.5%
3	とても重要	29	24.2%
4	必須条件	20	16.7%
	無回答	0	0.0%
	合計	120	100.0%



Q8-6 自己表現ができる

1	重要でない	19	15.8%
2	多少重要	52	43.3%
3	とても重要	32	26.7%
4	必須条件	17	14.2%
	無回答	0	0.0%
	合計	120	100.0%



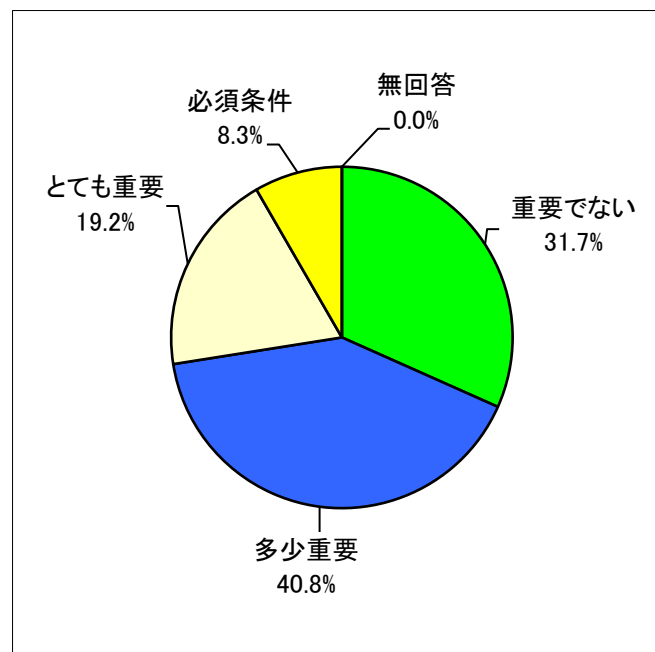
【卒業時アンケート(2025年度)】

回答数 120件

Q8 自分の将来のキャリアを考える上で次の要素はどの程度考慮しますか？

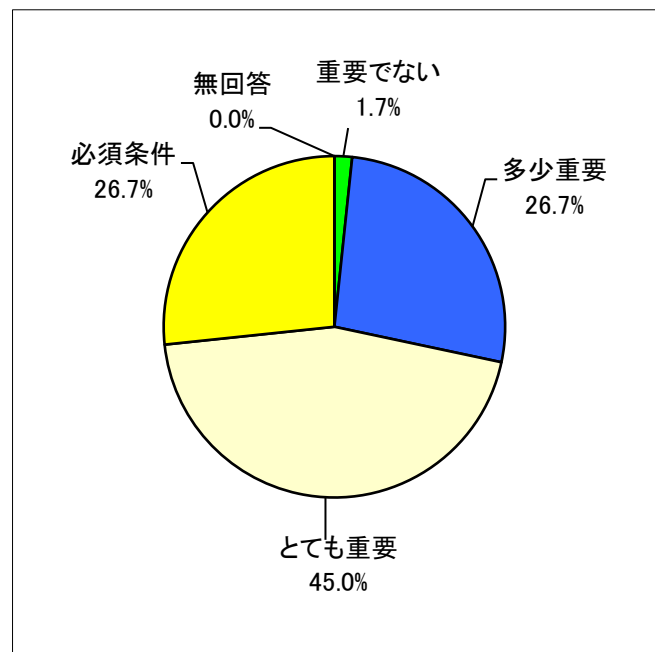
Q8-7 リーダシップが発揮できる

1	重要でない	38	31.7%
2	多少重要	49	40.8%
3	とても重要	23	19.2%
4	必須条件	10	8.3%
	無回答	0	0.0%
	合計	120	100.0%



Q8-8 ワーク・ライフバランス(仕事と私生活の両立)

1	重要でない	2	1.7%
2	多少重要	32	26.7%
3	とても重要	54	45.0%
4	必須条件	32	26.7%
	無回答	0	0.0%
	合計	120	100.0%



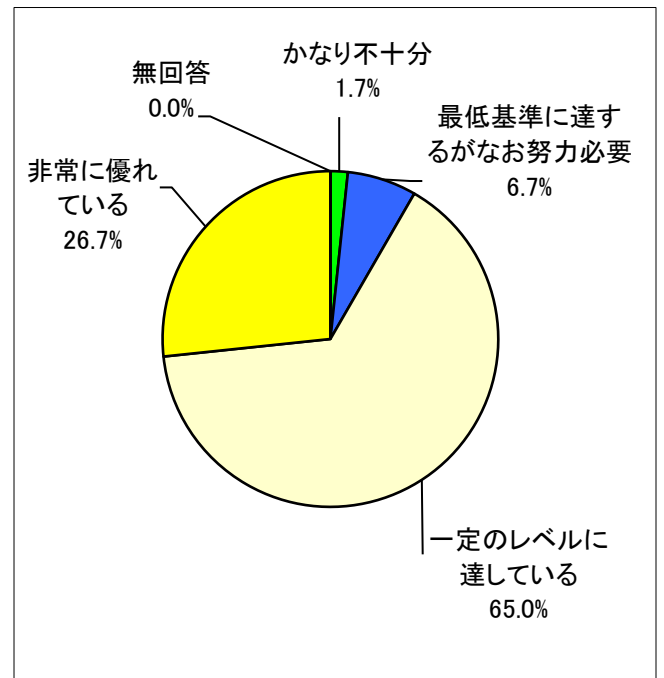
【卒業時アンケート(2025年度)】

回答数 120件

Q10 本学の定める学生が卒業時に達成すべきコンピテンス8領域について、それぞれ今の達成度はどの程度であると評価しますか？

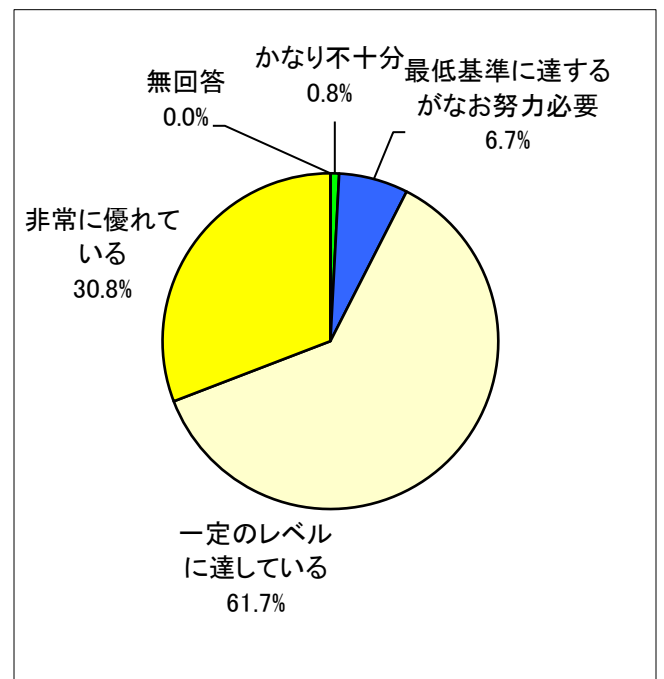
Q10-1 克己殉公の精神を受け継ぐプロフェッショナリズム

1	かなり不十分	2	1.7%
2	最低基準に達するがなお努力必要	8	6.7%
3	一定のレベルに達している	78	65.0%
4	非常に優れている	32	26.7%
	無回答	0	0.0%
	合計	120	100.0%



Q10-2 コミュニケーション能力

1	かなり不十分	1	0.8%
2	最低基準に達するがなお努力必要	8	6.7%
3	一定のレベルに達している	74	61.7%
4	非常に優れている	37	30.8%
	無回答	0	0.0%
	合計	120	100.0%



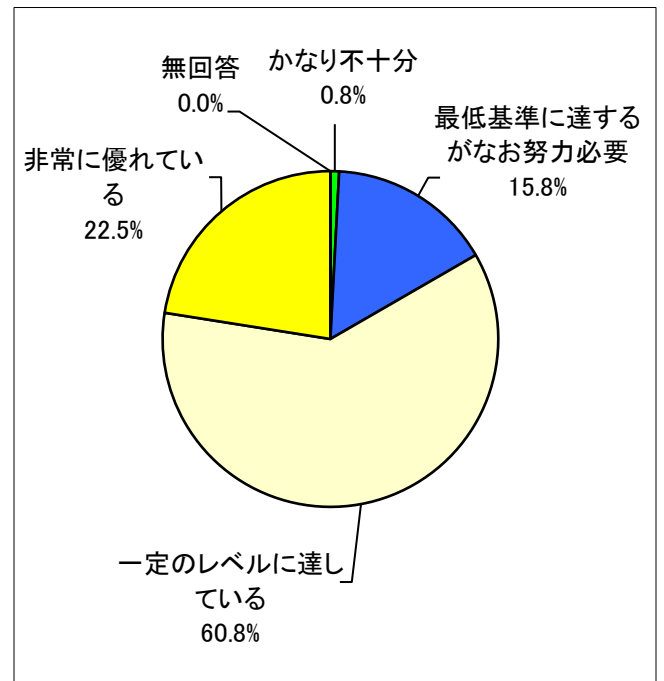
【卒業時アンケート(2025年度)】

回答数 120件

Q10 本学の定める学生が卒業時に達成すべきコンピテンス8領域について、それぞれ今の達成度はどの程度であると評価しますか？

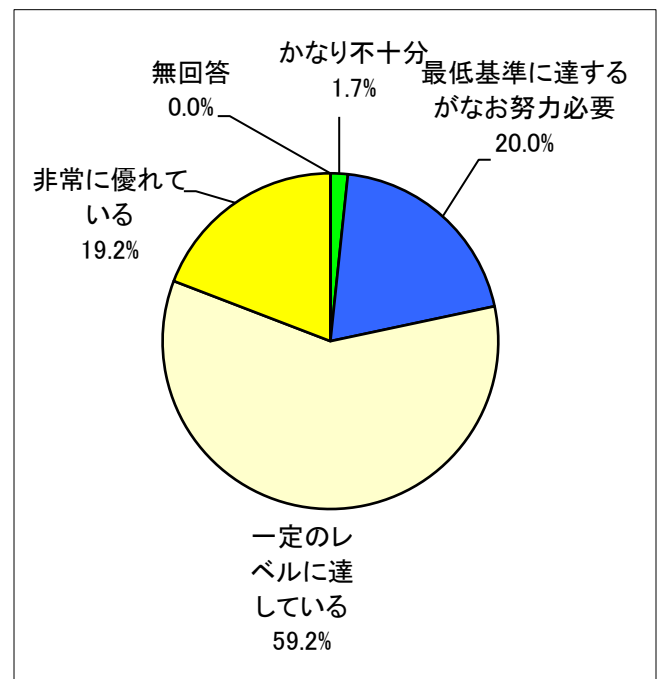
Q10-3 統合された医学知識

1	かなり不十分	1	0.8%
2	最低基準に達するがなお努力必要	19	15.8%
3	一定のレベルに達している	73	60.8%
4	非常に優れている	27	22.5%
	無回答	0	0.0%
	合計	120	100.0%



Q10-4 実践的診察能力

1	かなり不十分	2	1.7%
2	最低基準に達するがなお努力必要	24	20.0%
3	一定のレベルに達している	71	59.2%
4	非常に優れている	23	19.2%
	無回答	0	0.0%
	合計	120	100.0%



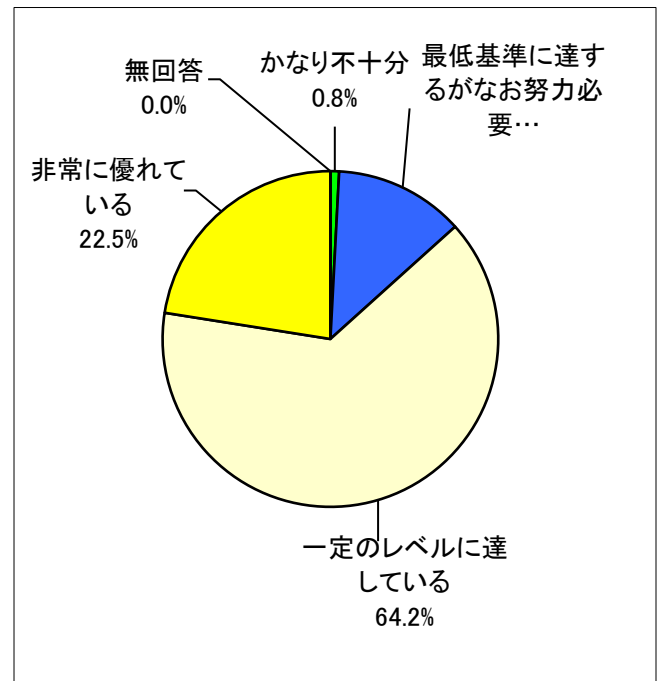
【卒業時アンケート(2025年度)】

回答数 120件

Q10 本学の定める学生が卒業時に達成すべきコンピテンス8領域について、それぞれ今の達成度はどの程度であると評価しますか？

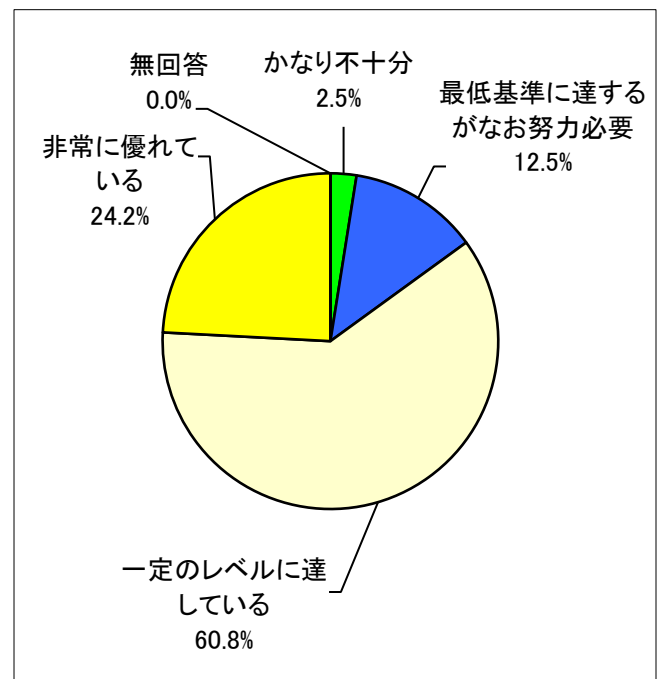
Q10-5 科学的探究心と思考能力

1	かなり不十分	1	0.8%
2	最低基準に達するがなお努力必要	15	12.5%
3	一定のレベルに達している	77	64.2%
4	非常に優れている	27	22.5%
	無回答	0	0.0%
	合計	120	100.0%



Q10-6 人々の健康の維持と増進を通じた社会貢献

1	かなり不十分	3	2.5%
2	最低基準に達するがなお努力必要	15	12.5%
3	一定のレベルに達している	73	60.8%
4	非常に優れている	29	24.2%
	無回答	0	0.0%
	合計	120	100.0%



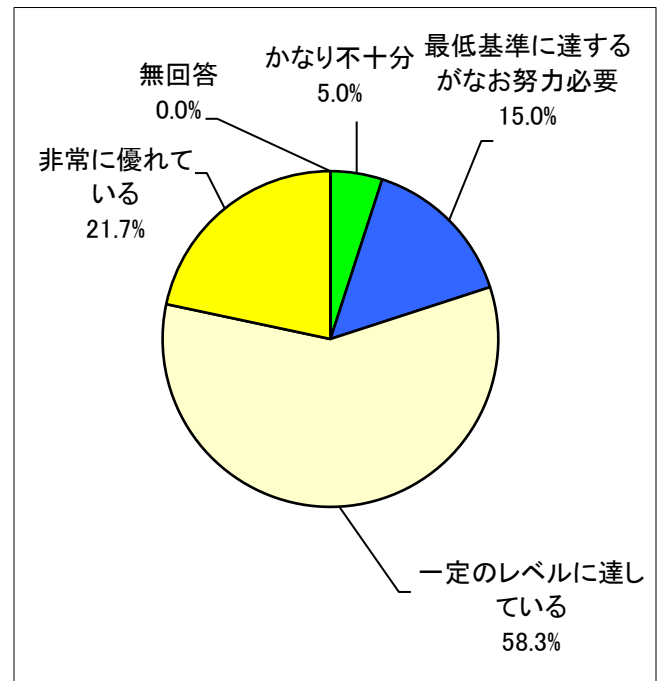
【卒業時アンケート(2025年度)】

回答数 120件

Q10 本学の定める学生が卒業時に達成すべきコンピテンス8領域について、それぞれ今の達成度はどの程度であると評価しますか？

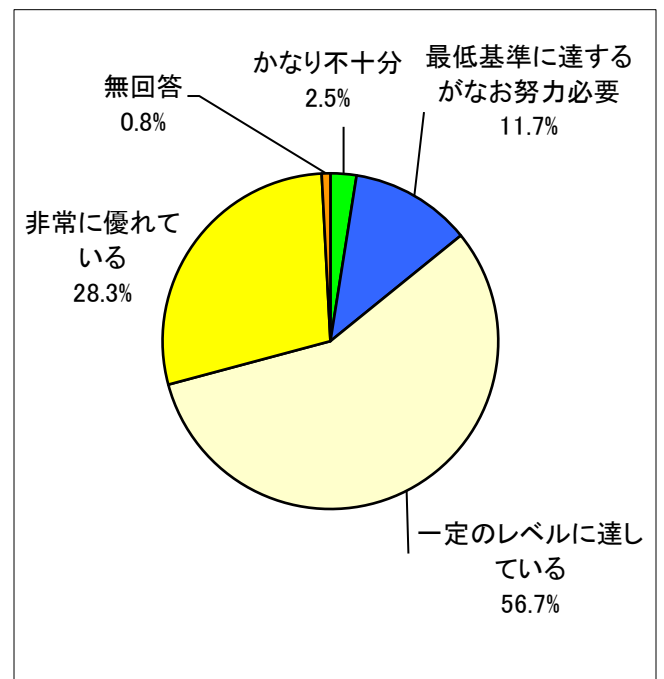
Q10-7 次世代の育成と教育能力

1	かなり不十分	6	5.0%
2	最低基準に達するがなお努力必要	18	15.0%
3	一定のレベルに達している	70	58.3%
4	非常に優れている	26	21.7%
	無回答	0	0.0%
	合計	120	100.0%



Q10-8 豊かな人間性と国際性

1	かなり不十分	3	2.5%
2	最低基準に達するがなお努力必要	14	11.7%
3	一定のレベルに達している	68	56.7%
4	非常に優れている	34	28.3%
	無回答	1	0.8%
	合計	120	100.0%



【卒業時アンケート(2025年度)】

Q9. 本学の授業(講義、実習)の満足度と、良かった点及び改善して欲しい点について教えてください。

Q9-1【基礎科学】について

第1学年末に行われたセミナー?(好きな教科の発展的な内容が学べる)が良かった
他大既卒者ですが、基礎研究で学ぶレベルが高かったように思った。理工系(数学など)と薬学系(科学・生命科学)の1~2年生の様な内容が学び直せたように感じた。また先生方の学生への優しさや配慮がよく感じられた。素晴らしいと思った。 (長谷部先生をはじめ。生物学研究室の先生方には研究で大変お世話になりました。)
教員のしたいメッセージが伝わってこない。
どの科目も高校の内容から医学につなぐ橋渡しとしての内容、各科目の学問的体系を両立した内容になっており、学びが良かったです。
レポートが手書きだったのが手間かかった
発生の授業がいまにいきてる気がする
先生方の面倒見がよく、理解させようと努めて下さっていた
試験が記述式だったので基礎を身につけられた
テストがむずかしかった
あんまり覚えてないです。コロナが拡大していて大変で家でやっていることが多かった気がします

Q9-2【基礎医学】について

肉眼解剖などの実習により自由度があれば良かった。ペーパーでの評価と実習自体の評価は分けてほしい
後で役に立ちました
解剖学(小澤一史先生)のように、先生方がその内容に熱意をもっているのが伝わった講義は、とても奥が深く感じられて面白かった。
生理学や生化学など共通して言えることだが、作業が求められる課題が多く、考える作業があまりなかったのが残念。また、生理学実習で鈴木先生が学生のことをあだ名で呼んだり、学生のモチベーションを削ぐような発言が多々あり、大変不快でした。
カリキュラムがしっかりしており、2年生で頑張ったおかげでその後の臨床医学の学びもスムーズになったと思います。
新カリキュラムで試験日程が負担軽減されているように感じた
試験範囲が広く、勉強が大変だった
武蔵境がいい
・臨床に側した授業をしてほしい
・カコ問の問題はせめて公式で公開すべき・勉強したい学年が勉強できないし、効率が悪すぎる
病態生理学ぶ上で、必要な知識であったと思う
若干先生方が怖かったが、実習なども充実しておりとてもためになった
スライドがわかりやすかった。内分泌・循環などは今でも役立っている
テストが過去問でよかった
解剖はとても勉強になった気がします。少し厳しいテストも勉強のモチベーションにはなりました。

Q9-3【行動科学・社会医学】について

人文科学分野の授業をもっと充実させるべきだと思う。教養としても国家試験対策としても不足していると思う
わかりやすかった。
1年生のうちに医療コミュニケーションを実践する機会にあったのは大変良かった
具体的な事件などをあげて下さったので分かりやすかった
もう少しフィードバックがほしかった
倫理を学べた

Q9-4【臨床医学】について

MECに授業に任せるなら、大学の講義は研究等の内容に絞っても良いと思う
とても良い経験なのですが、実際出席率はどうしても低くなってしまっているのでオンデマンドのさらなる拡充をしてもいいと思います。(全員オンデマンド視聴ただししっかり試験など)
先生、生徒ともに講義に対するモチベーションが低い
CBTや国試に沿った出題をして下さったり、講義内容をそのように工夫して下さったので勉強しやすかった
QBだけでは知ることのできない詳細な知識を学べた

Q9-5 1年生での医学入門や看護業務実習など早期に医学に触れるプログラムはその後役に立ちましたか?

色々な講師のお話が聞けると尚良かった
やってないコロナで制服を無駄になった。
コロナ前にありました?
コロナでほぼなかった

【卒業時アンケート(2025年度)】

コロナだったため
コロナ渦であまり実現しなかった印象がある
コロナ渦であまり学びとなることは少なかったように思う。
コロナでほぼ行っていない。
コロナであまり実習は出来なかったと思います
1年生で看護業務実習を行えていないので2・3年生の時に繰り下げて行う機会があればよかった
コロナ渦で実際に現場に行けなかったが、オンラインで少しでも医学に触れられたから良かったです
コロナで行えないことが多かった
コロナでやらなかったです
コロナでイレギュラーでした
役に立ったと感じることはなかった。4年以降の実習だけで十分だと思う。
早い時期に責任の自覚をすることができた
オンライン実習ではなく対面参加ができればより良いと感じる
オンラインだったため
コロナであまり学べなかった
コロナの影響で十分にはできなかった
看護業務実習はしていないのでわかりませんがやってたら役にたったのかもしれませんが

Q9-6 SGLはどうでしたか

SGLの内容は高学年になっても覚えていて為になっている
たてのつながりは大事だと思いました
1人の学生が先導して課題を進め、できる限り速くグループワークを終わらせようとする傾向があり、鑑別など丁寧
に学べると良かったと思う
学生のレベルが低くて、議論にならない。
SGLで扱った疾患は印象に残り、その後の学習に役立ちました。グループディスカッションやスライド作成も大変役に
立ちました
医学知識がない中で行えたので疾患の印象が強く残った
先生によって終わる時間がバラバラ
難しい
早期から医学に触れられる機会がありよかった
チーム医療を経験することができた

Q9-7 研究配属はどうでしたか？

他大学に行く機会にもなり、見識が広がった
普段の座学ではできない経験でした
後期研究配属以降も、自由な形で続けること(カンファだけ参加)を許可して下さり、毎週研究についてあ考えるのが
楽しかった。(森田先生、石橋先生をはじめ、微生物学・免疫学の皆様に大変お世話になりました)
イジメにあった。一人だけ仲間外れ。
臨床分野の受け入れをもう少しふやしてほしい。選考の基準も学生に伝えられる範囲で教えていただけるとモチベー
ションになるかと思えます
研究に携われた感じはしなかった
早稲田の総合機械工学科に伺ったが、とても身になった
後期研究配属というシステムそして5.6年まで続けるだけで賞をいただけるシステムのおかげで研究に足を踏み入れ
やすい環境が整っていたのが最高だったと思う
少人数で研究に関する様々なことを一から教えていただけた
研究に対する解像度があがった
私としては希望順位の低い所に行くこととなり、教室の研究でも続けたかったのですが先生が学生にかまっている時
間がないようで気まずくてやめてしまいました。研究の補助員さんや他の先生と話して研究するのは楽しかったで
す。

Q9-8 臨床実習はどうでしたか？

特に何もすることがなく、見学もなく帰宅させられることが多かった
皮フ科が北総で症例がかたよってた。
全体的には良いが科によるバラつきが大きい
科ごとに熱量が違って、温度差(ハイパーな科とハポな科、学生に優しい科とそうでない科)が大きかった。また、
実習で頑張っても成績にあまり反映されていないのは、改善してほしい。
教育に力を入れている科(病院)とそうでない科(病院)の差が大きかった
全体的に見学が生体の実習であったのでより実地でしか学べないことを学びたかった(各種検査の実施方法など)
班員がとんでもない奴らでさんざんな目にあった。最悪。
病院ごとによって同じ科でも特色が違いすぎるため実習にムラがある
意味がない

【卒業時アンケート(2025年度)】

班としてまとまりに欠けていても意外と実習として成立していたので驚いた。但し事前にある程度班員の希望は調査して(非公式に教務課にNGを出した学生がいると聞いている)また、特定の学生が恣意的に班員を決めるようなことがないとなお良い。ローテーションを自分たちで決められるシステムは大変よかった
自由にできる時間(実習以外で)が増えたのは良かったが、実習では見学が多く実際に自分でできる機会が少なかった
机上だけでは得ることができない大切な感情を学べた
班員と協力できました
親身に指導してくれた
試験にも今後の仕事にも活きる知識を学び得たと感じたから
国試の勉強した上で実習にした方がいいと思います
良くない点特に永山病院で学生の受け入れ体制がほぼ整っていない、ただ突っ立って意味のない時間を過ごすことが多かった
先生方が優しく、様々なことを教えてくださったり、手技を体験させてくださった
実習班の班員をずっと固定する必要はないように感じる
学生間で実習への向き合い方や熱量が異なり、班員とバランスをとるのが大変であった。希望すれば手技や見学、当直などをやらせてもらえたためとても貴重な経験・実習になった
科によりばらつきはあったが、実践的な学びをすることができた

Q9-9 臨床実習で勉強になった理由

指導医の先生方が熱心に指導してくださったから
予診をさせていただけるなど、とても有意義な実習だった
たくさんの症例がみれた。学生が参考になるものを見せてくれた。
楽しかった
実地経験を多く積めた。産学も充実していた
学生の立場でも一番チームの中に入れた感覚があった
集中治療学会での症例発表の機会を頂けたため。
手技の間にも説明してくれた
オーベン、教育担当の先生がわかりやすくご指導下さったため
管理や外来など当たり前に行えるべきことをできることの大切さを教えていただいた。面倒がらず教えてくださった。
アンギオをたくさん見学でき、苦手だった心電図の読み方も聞けて勉強になった。
手術に参加させていただき、非常に勉強になった。
雰囲気良かったです。
患者への(指導の下での)介入(ルート等の手技)や考察引能で学びになった。
持ち患をつけていただき、カルテ上だけでなく実際に ベッドサイドで患者さんと関わったのが良かった。
ファーストタッチに参加できた
患者さんとお話しする機会が特に多かったから。また、選択CCの際に、希望をきいていただけて、多くの経験を得られたから。
OSCE対策がよかった、勉強になった
心電図が読めるようになった
選択ccで周ったが、学生個人個人の学びたいことを初めに聞き、それに応じて実習の内容を調整して頂き、大変勉強になった。
縫合などいろいろ経験させていただきました。
なし。学生の相手を全くしてくれない。
国試問題のスライド発表など、勉強になる機会が多かった。手技を練習することも多く、実になった。
希少症例に触れることができたから。
先生の指導が手厚かったです
教授の先生が、大変教育熱心で口頭試験含め勉強になった
レクチャーなども豊富で呼吸器に改めて興味を抱けた
実際に救急患者が運ばれてきて医師のファーストタッチを間近で見られた
患者さんと密に関わることが多かったため
外来が印象に残っている
実際に採血の練習をさせてもらったから
沢山手技をさせていただいた
ブタ心臓を使用した弁置換の模擬手術が良かったです。手術見学だけではよい分からなかった心臓の構造オペの
手順が実際に自分の手を動かすことではっきり理解できました
将来の志望科であり、オペをたくさん見学できたから。助手に入れたから
待機時間にも納宮先生をはじめ、多くの先生から考え方を教えて頂き勉強になりました
多くの症例を経験させていただき、手術にも積極的に参加させていただける環境だったため、現場をじっくり体験させていただけただけからです。
良かった
症例をたくさんみることができた
外来、病棟どちらも見れたため。講義が分かりやすかった
国試や試験に出やすい事項を学べる症例を担当させていただいたため。「5分間プレゼン」もよかった
丁寧に教えてくださった、実際の診療の現場の感覚がわかった

【卒業時アンケート(2025年度)】

カメラを持たせてもらえた
オペに積極的に参加させてもらえ、大変有意義な実習となった
毎回回診に行くため、先生方がどのように患者さんの状況を把握するのかどう声をかけるのか、また採血などもどうやっているのかが見ることができ、勉強になりました。新生児スクリーニング検査のお手伝い、新生児の診察を実際にさせていただいて、小児科への興味が深まりました
先生方の指導が熱心でなんでもやらせてもらえた。重症患者がみれて、勉強になった
多くの手技を経験させていただいた
将来希望科での仕事の様子がなんとなく分かった。子どもが好きなので小児の健診も興味深かった
子供いっぱい生まれてうれしかったです。幸せな職だと思ったので志望しています
手技や座学の時間が豊富に用意されていたためになったから
カメラをたくさんもたせてくれた
積極性を大事にくださったため
OPEをたくさんみられた
教育や手技の機会が多く、実臨床を身近に感じることができた
忙しいながらも、非常に充実していた
指導が良かった
実際に顕微鏡での手技を経験することで、将来の進路としての興味がわいたから
当直の体験やドクターカーなど、様々な体験をさせていただいたため
手技ができて楽しかった
スライドの作成方法が分かった
初めての外科の実習でとても勉強になったし、オペで術野にも入れさせてもらえたので良い経験になった
先生方が親身になって教えてくださり、手術の面白さと責任を双方身を持って感じることもできたから
オペに入らせてもらえたため
将来興味がある科だから、どのような働き方をしているか学ぶことができた。様々な手技的な経験もさせていただいた
手技を多くさせてもらえたから
分娩も、婦人科の手術も見学させていただき、とても参考になった
たくさん手技に関わらせていただき、初めていきる経験や学びが多かったから
朝の回診から夕方まで沢山の業務と一緒にまわらせていただき、とても学びが多かったです。
小児の手術の特に親御さんがきていて医師としての責任や重さを感じた
初療の中で手技を経験させていただいた。ドクターカーの同乗により病院前診療を経験できた。
最も興味があったから
手術の手伝いをさせてもらえることができ、実習の楽しさと学びを得ることができた
色々手技を学ばせてくれたから
志望科である小児科だったから
講義や患者さんとふれあうなかで、多くの学びを得た
外来で検査や処置をたくさん見学できたから
学生を積極的に術野に入れてくださる優しい先生方が多かった。外科を志すきっかけとなった
無駄なただ突っ立っているだけの時間が短く、学生に教育しようという姿勢が最も感じられた
荒谷先生が外来見学のたびに国試レベルの口答試問をしてくださった。また、腎生検の見学や先生方の講義も非常に分かりやすかった
経験したいことを個別にきいてくださってお忙しい中で経験させていただき勉強になった
先生方が積極的におしえてくださり、OPEも頻繁に入ることができた
手技をたくさんさせてもらえた
手技を多くやらせてもらえた、外科に興味を持ったきっかけとなった
選択CCで回ったことも大きい、様々な手技をたくさん経験させて下さり良い機会となった
ダヴィンチ手術が学べた
細かく教えてくれた
ハンズオンなどを開催して下さった
集中治療における疑問に対してひとつひとつ丁寧に答えて頂いた
オンオフの切り替えが良かった、オペが面白かった
たくさん手技をやらせてくださった
手厚かったです
麻酔の導入や手術中のバイタル管理について教えていただき短い時間で大量の知識をつけることができたから
先生や救命士さんが、熱心に教えてくださった
教授の講義が分かりやすかった
国試対策になった
教授の外来見学で共感と傾聴の姿勢も学べた
それぞれの分野の最前線にいる先生方が多く、紙面上での知識以上のものを得ることができた
ミニレクチャーが多くて勉強になりました
将来、自身が進みたい診療科を決定するきっかけになったため
新生児の蘇生の手伝いや外来見学など積極的に実習に参加させていただいたため
手技を色々経験させてもらえて刺激にも勉強になった。先生方の雰囲気も良く気軽に質問でき学びが深かった
色々な症例にふれられた
講義がどれも有益であった

【卒業時アンケート(2025年度)】

学生のうちから参加できることをたくさんやらせていただけたから
実際に手技をさせてもらう場面が沢山あり、臨床的な学びが多かった
先生の距離が近く、専門外のことでもたくさん教えていただけたから
様々な手術の術野に立ち合わせていただき、濃密な実習ができたため
外傷多く見れて良かった
教育に力を入れてくださっていて、とても勉強になった
長峯先生が親切だった。全体的に雰囲気よかった
オペが分かりやすく面白かったため
初療の見学や参加ができた。先生が学生にもちゃんと教えようとしてくれて勉強になりました。
手技を多く経験できた
指導医の先生方が熱心に指導してくださったから
PT、OT、STなど他の医療職の方のお仕事を拝見できて良かった
たくさんの症例がみれた。ドクターカーや当直などを経験させてくれた。
同上
Parkinson病の患者さんに対する嗅覚検査など検査手技を沢山経験させて頂けたため。
構造・手技の目的を説明してくれた
オーベンの先生が手厚く分かりやすくご指導くださったため。
なかなか経験することのないような重い外来なども同席させていただいて、とても学びになった。人生相談にも乗ってくださってありがたかった。
採血を実際に学べた。
プレゼンの経験が貴重だった。
学生を気にかけて下さり、長いopeでも勉強になることや興味を持てるような会話を多くして下さったから。
開創の補助など実際に体験できたことが多かった
糸結びなど実践的に参加できた
産婦科医になりたいと思えた
opeでは解剖構造を説明しながら見学させて頂き、また、顕微鏡トレーニングなど非常に工夫された実習であった。
同様
オペ中に、なかなか見れない脳幹周囲の解剖構造を見せていただき、解剖の良い復習になった。
幅広い疾患に触れることができたから。
白内障の手術が感動しました
様々な手術をやらせていただき当直経験もでき大変良かった
難しいオペをやっているのを見れたのは今後あまり見学する機会も少ないと思うので良い経験になりました
NICUで見学できたため
講義もオペも勉強になった
色々な職種の方々から講義をしてもらえ、勉強になったから
仕事に感動した
オーベンの岡先生が、熱心に指導してくださり科に興味をもてたから。お願いしたら時間のあるときにクルブスしてくださったから
親切な先生ばかりで手術中も熱心に指導頂きました
最新のロボット支援下手術をたくさん見させていただき、また手術や検査など幅広い手技を学ばせていただけたからです。
良かった
学ぶことが多かった
講義や説明が丁寧で理解しやすかったため
毎日の内視鏡検査に加え、がん検査や初期のがんの治療など公衆衛生に関係する点も学べたため。後でラジオ派焼灼術の国試問題が出た時にも即答できた。永山消内で消化器を得意科目にできたと思う
オペが面白かった
必須の手技である採血、ルート確保の練習がやはりよい経験になりました
外来で会話を通し、知識の確認や実臨床での肌感を学ばせていただいた
山口先生の講義がすばらしかった
OPEをたくさんみられた
実習中に、逐一疾患に関わる知識を積極的に教えていただき、非常に身になる実習だった
非常に学ぶことが多く、研修医になって活かそうだったから
指導が良かった
術野に積極的に入れてくださり、手技を多く経験でき、より外科への興味が深まったから
先生の患者さんに接する態度など医師として勉強になることが多かった
救命医療の第一線を肌で感じる事ができた
1人の患者さんが入院し、手術をして手術後管理から退院するまでを見ることができ、医療のリアルを知ることができた
オペに入らせてもらえたため
救急の知識は研修医になってから必要になると思うので学生のうちから回ることができてよかった
講義がとてもわかりやすかった
手術準備の段階から一員として参加させていただき、OPEの流れを学べた。また、先生方の技術の素晴らしさに感動した。
婦人科のオペを中心に解剖学的な学びから各論まで様々なことを教えていただきました。

【卒業時アンケート(2025年度)】

初療に関わることができた。ドクターヘリを近くで見学することができた
生命の誕生を間近で初めて見たから
研修医の方々についていき、職務を手伝うことで実習だけでなく、現場にいるという感覚を得られた
術野に入れてくださり、貴重な体験ができた
指導医の先生に様々なことを指導していただけたから
学生に対する指導がとても手厚かった。迅速病理診断凍結標本作成の見学など実習で工程をきちんとみれてよかった
学生の意欲に応じてカテ見学もできた。先生方の講義も生徒に興味を持たせる内容で良かった
患者さんひとりひとり割り振られ、患者さんとお話したりその患者さんのスライドを発表した。最初だったので、印象に残った。
症例発表のスライドについて、大変丁寧にご指導いただけた
手技から、臨床に即した患者への説明等の課題ですごく勉強になった
学生に寄り添った実習で、ただ見るだけでなく時間をとって手技を教えてもらった
学生1人に指導医1人を割り振って下さり、マンツーマンで指導して下さり、とても濃密な時間を過ごせた
ドクターカーについて学べた
細かく教えてくれた
面白かった
実習では、検査や手技、身体微候などを直接みれることが特に重要だと思うが、この科では身体診察も学生が出来る、良かった
問診させてもらった
アウトプット、手技、カンファとバランスよくたくさん面倒をみてもらった
夢がありました
心臓や循環についての基本的な考え方を学ぶことができたから
教授の講義が分かりやすかった
多くのオペに入らせてもらった
興味を持っていた科だったこともあり、多くの経験をさせていただいて、より一層興味が深まった
手技を多くやらせてもらった
オペや出産の見学の機会が多かった
外傷に対する救急医療について学ぶことができたため
先生方が熱心で自分たちのやる気に向き合っていた。救急の最前線での経験は学びにもなり印象に残っている
カンファレンスの時の発言の仕方やカルテの書き方など基本的事項を多く学ばせていただけたから
内視鏡持ちを週4~5回行わせていただき、縫合などの手技経験を沢山積むことができた
選択で回った際、志望科ということもあり手技や外来、緩和ケアを含む様々な見学をさせていただいたため
手術楽しかった
当直も経験させていただき、勉強になった
拘束時間が少なかった。カルテに興味深かった
パワーポイントを使った症例発表でダウン症を深く学ぶことができたため
オペをたくさん見て、術野に入って教えていただき楽しみながら勉強になりました。
直々に一対一でレクチャーを多くしてくださった
指導医の先生方が熱心に指導してくださったから
光ポトグラフィー検査や、他の医療施設の見学ができて良かった
たくさんの症例がみれた。外科の生活を学べた。
学生のレベルに合わせて、ためになる講義をしてくださった
講義やオペなど臨床的な知識を教えていただいた。
消化器外科同様、我々に気を配って下さり、ope中の講義や手技の説明などが分かりやすくて良かった。
稀に症例の導入を見学することができた
外科手技にたずさわれた
手術楽しいと思えるようになった
選択ccとccで周ったが、全てのopeに入らせて頂き、外科基本手技や心外opeの基本をしっかりと学習させて頂きました。
同様
画僧診断に多く触れることができたから。
興味のある科だったため。またICUに入院している患者さんともかかわることができたため
症例発表の準備をする中で学びが多かった
ていねいに患者さんの疾患とその特徴(国試に出るところ)を解説していただいた
実際の救急をグループ内に入れてくださりメンバーの一員として学べたから
実際に患者さんに医療面接させて頂く機会を頂き貴重な経験ができました
多くの症例を体験させていただき、手術にも積極的に参加させていただけたからです。
良かった
すごかった
オペ見学の症例、回数が多く実際のオペの流れや周術期管理を見学でき、国試の勉強にも役立っています。特にイメージしにくかった肝胆膵領域の講義がとても分かりやすかったです
カンファレンスはとてもどきどきしたが英語での発展など実習カリキュラムとして最も充実していた

【卒業時アンケート(2025年度)】

指導が良かった
先生が丁寧に病態を教えてくださいましたので分かりやすかった
手技や外来、カンファ、回診など網羅的に内科を経験することができた
オペに入らせてもらえたため
帝王切開などオペをたくさん見学することができたので外科系を志望している私にとってはとても大切な経験になった
初期診療など勉強になった
担当患者さんの経過を2週間追い、発表するまでの過程がとても勉強になりました。
手術の中で手技を経験させていただいた。ダヴィンチを使ったシミュレーションも経験できた。
先生の雰囲気よかったです
初めて腹腔鏡を持たせてもらったり、ダヴィンチをのぞかせてもらえや
授業が良かった
学生にオペの多くを体験させてくださり興味多く持てる内容だった
当直をさせていただいた。少人数の緊迫感を感じ、自分も動かなければと自覚することができた。
1症例に対する考察を深めて発表、そして先生のフィードバックがとても役立った
Common diseaseをたくさん見ることができた。口頭問題がとても学びになった
リハビリテーション科の実習を1週間しっかり確保している大学は少なくリハビリに興味を抱きかけとなった
とても良かった
主体的に動けた
いろいろ体験できた
忙しいにも関わらず、常に学生に教えられないことがないか、見せられるものがないか配慮して頂きとても勉強になった
オペ中に解剖など解説してもらえてためになった
カンファが勉強になった
勉強になりました
教授の講義が分かりやすかった
様々な種類のオペに入ることができた
忙しい実習だったが、一番人の命を救うという経験ができたと思う
希望すればいくらでも手技をやらせてもらえた(当直も含む)
症例発表で先生からフィードバックを頂く事ができて学びになった
重傷外傷症例が多く、救急医療の素晴らしさを実感できた
子どもかわいい
呼吸器疾患への理解が深まったから
拘束時間が少なかった
外科の大変さがよく分かったため
1つ1つ解説してくださいました

Q11. その他、学業やカリキュラム全般について意見、特に印象に残った授業などがあれば記載して下さい。

お名前は失念いたしましたが、病理の授業で東京逓信病院の日医OBの先生のご講演が特に印象に残っている。退官された解剖学の小澤一史先生退官講義にとっても感動した
科による穴がないと思います
低学年のときの映像授業が一番印象的
6年生の終盤になって基礎論文がジャーナルに掲載された。間に合って良かった。
進級がやや大変だった。
解剖実習が興味深かった。
SGL
SGLは良いシステムだと思いました。
選択CCで外部の病院に行った。CCの中で一番刺激的だった。
ウェットラボなどと積極的に開備して頂いて大変勉強になりました。
こんな大学来るんじゃないかな。時間を返して欲しい。卒業試験の内容が医学的に間違っていることが多すぎるし、それをしても、教員が対応してくれない。そもそも、2回分の試験をMECが作っているじてんで「学校教育法」に抵触しているのではないのか？
薬理学実験で、ウサギを使った実験がありましたが、こうした実験動物の犠牲があつて、今の医学があるということを感じた大切な機会でした。
低学年時の生理学・生化学・解剖学が高学年の学習に役立った。
特になし
国試に向けて用意されており良かったと思います
特にないです
基礎医学で学んだ行動心理学の授業がおもしろかった解剖も勉強になった
解剖実習が今でも印象に残っている。勉強不足のまま取り組んでしまったため、今もう一度取り組みたい。
今のちょうど良い試験の厳しさとほどよいゆるさが絶妙に素晴らしいです。(お世辞めです。)このほど良い「ゆるさ」も大事に残して欲しいです。(他大を見ると特にそう思います。)
特に印象に残ったのは解剖学です。1番最初にあの部屋に入ったときのことは今でも忘れません。これから医師を目指していくことを実感した日でした。

【卒業時アンケート(2025年度)】

国際的な活動での理解が大きく、個人的な海外での臨床研修活動に対しても支援して下さったことが助かりました。
1年生の基礎化学の先生方は学生のことを特に考えて下さり、学びが楽しかったです。医学を学ぶときだけでなく、身の回りを見る目(ものの見方)もかわったと思います。
研究配属が普通の座学とは違いより実践的な内容を学べて学習のモチベーションにつながりました
なし
CC実習でまんべんなく全科で周れたのが良かったです
カリキュラムは数年ごとに改訂されていたようで、特に意見することはない。試験は学内のものであったとしても、聞く事項・学習しておいてほしいなど一貫しており学生の評価よりは良くなっていると思った。また、呼吸器の授業で弦間学長が講義されているのが印象に残っている。たしかニューモスチス肺炎・非常型肺炎だったと思う
特になし
6年でテスト後にすぐ解答を配布してほしい。また、6年の夏がマッチング、東医体卒試とかさなるので、調整してほしい
小澤先生の肉眼解剖学は私にとって初めて実際の人体と向き合う機会であり、また実習自体とても興味深く、印象に残っている
とくにありません。素晴らしい6年を過ごすことができ、感謝しています
GPA上位制度がありがたかった。年々学生のレベルがあがっているなら、出席を全部なくすべき
実習はやっぱ印象に残りました
解剖
特になし
解剖学、やはり印象的だった
特になし
崎村先生の授業英語の習ったことないことを知れてよかった
・生命科学基礎の授業が面白かった・薬理学実習が面白かった
学業やカリキュラムについては特になし、特に印象に残った授業は解剖学、スポーツ科学、生理学実習、薬理学実習
特になし
QA、QBができて、学校の授業が無価値になっているので授業の工夫をした方がよい
研究配属については既定期間後も自由度高く継続できる環境があり良かった。また上位者プログラムにより、授業出席免除されたことで空いた時間で様々な学びの時間ん位充てることができ大変ありがたかった
全体的に6年間総じて楽しかったです。
2年生のときに行った解剖が特にこれから医学を本格的に学ぶという実感が得られてよかった
医学英語(1年生)の授業が印象に残ってます
実習期間が長いのはいいと感じた
公衆衛生の実験が印象に残っている
研究配属で統御機構診断病理学に出会えて本当に良かったです。指導して下さった堂本先生を始め、病理学教室ではとても良い先生方にめぐまれました。3年間研究を継続し国際学会で発表できたことは、研究の手技を学ぶのみならず、自分の自信にもつながりました
MECとの連携はほどほどにした方がよいと思う。MECの先生方が大学にきてくださる講義に関してはとても役に立ち、行ってよかったと思っている。しかし、学生がMECではなくメディックメディアのQBを新たに買い直す人がほとんどで上記講義を除くとメディックメディアに教育費を使った方がよいのではと疑問が残る。特に成績の悪い生徒をMECに行かせるというシステムがいらぬと思う。そんなところに多額の学費をつぎ込むなら、学生からバイトをつのって学生に講義をさせるなり出席管理をして大学で講義ビデオを見させる方がいいと思う。ぜひ、学生にアンケートをとってどのサービスでいくかも再検討してほしい。
大1の榎村先生の医療人類学。「病」というものに対しての時代や場所による捉え方のちがいを学べたのが印象に残っている
医学実地演習がコロナでできなかったのが残念です。MECカリキュラムについて、CC実習中の確認テストがもう少し実習カリキュラムに沿ったものと良かったです、国試対策講座はとても役に立ちました
肉眼解剖実習は非常に楽しく印象に残っている。この影響もありリハビリテーション科への興味がわいた。また6年次は成績が低速しご心配をおかけしたが、その際学アドの先生や北村先生からのメールが励みとなった。そして、日医オリジナルのサマライズマイナーを含めMEC特別カリキュラムはとても分かりやすいものであり学習の一助となった
OSCE実習
特になし
特になし
個人的にはもっと長く研究配属をしたかった。授業がない中、続けることができている低学年が少しうらやましい。
特になし
SGLは思考能力や検索能力がとても向上したように感じた
全体的にいいカリキュラムだったと思います
第1学年～第3学年でのSGLの授業を通して、低学年から臨床医学に触れることができ、医学に対する意欲の向上に繋がりました
実習で特に外科では実践的なアドバイスが得られて学びになった
より国試にフォーカスした授業があってもよかったと思う
まだ臨床医学を学ぶ前にSGLで同級生と意見を交わすことができた経験はとても良かったです

【卒業時アンケート(2025年度)】

海外留学について、柔軟に対応していただき1か月で多くの経験ができたのが印象的
SGLが楽しかったです
解剖楽しかった
救急の実習が印象に残った
スポーツ実習の卓球は楽しかった
タイでの短期留学が非常に楽しかった
なし

Q12. その他、学業に限らず、日本医科大学で過ごした6年間の感想など自由に記載して下さい。

コロナ渦に入学し、出来たこと、出来なかったことがあったが、ここに至ってはたくさんの出会いと学びがあったことに心から感謝している
OSCEとかCBTの試験そのものの説明をしてほしかった。OSCEが全部名前順でお昼ごはん終わってすぐで気がのらなかった。
コロナの影響があった中では、楽しめた方だと思う
少人数だが、共に試験、部活などでたかかったことが一番心に刻まれました
大変お世話になりました
充実した楽しい6年間でした。ありがとうございました。
勉学をまじめにしていれば自由度も高く、大変たのしい6年間だった。
コロナで大変だったり、GPA特別プログラムが適用されたりと、4年生まではほとんど大学に来る機会がなかったが、その時間を私生活に多く当てることができた。ただ遊ぶのではなく、アルバイトや家事などを通じて、社会についてよく考える時間が得られたのは貴重な境遇だったと思う。医学の勉強、研究論文、アルバイト、臨床実習の4本立ての6年間は、充実していたが疲れた。6年間、学費以外全額自費で生活出来たことだけは自分をほめてやりたい。
進級するのは大変ではあったが、部活や進級以外の勉強する時間もあり楽しかった。
部活や実習など色々なコミュニティでの人間関係をこれからも大切にしていきたい。
1年のコロナ以外は良かったです。
野球部に入って良かった！
充実した6年だったと思います。ありがとうございました。
前半は、コロナの影響でできなかったことも多くあり、残念ではあったが、後半は色々なことを経験し、産学・実習・部活と充実して過ごせてよかったと思う。
コロナで3年間はあつという間だったが、4・5・6年は濃い時間をすごせたと思う。
”親友”ができた。とても楽しかった。
最悪、最低の一言につきる。一生かかわりたくない。こんな大学、来るんじゃなかった。
勉強だけでなく、部活やバイト、友人との旅行など、充実した6年間でした、特にタイへ臨床留学に行けたことは一生の思い出になりました。
充実した6年間をすごすことができました。ありがとうございました。
部活が楽しかったです
6年間ありがとうございました
とても楽しかったです
とても楽しく有意義な6年間でした
楽しく自由に過ごせた。有意義な6年だった
部活動で得たものが大きかった。縦のつながりを大切にしていきたい。
部活は楽しかったですし、前述したほど良い「ゆるさ」があることで、学業以外のことにもたくさん挑戦でき、これ以上ないほど満足できる6年間でした。(たくさん遊べました。)海外CCも行かせていただき、日医には感謝しかありません。6年間ありがとうございました。
コロナの影響が強く、最初の2年間がかなりちぐはぐなものとなってしまいましたが、多くの試験やポリクリなどを通じて一生の仲間も見つけることができたので結果的に満足のいく6年間でした。他大と比較して、とにかくテストが多かったような気がしますが、それもそれで気を抜かずに過ごしてきたことが今の国試直前の精神状態にプラスに働いていると思います。ありがとうございました。
低学年でのGPA上位者プログラムのおかげで活動の幅を広げることができました。ありがとうございました。
比較的高年齢での入学になりましたが、同級生の皆様や先生方のおかげで楽しい6年間を過ごすことができました。どんな人も受け入れる文化のある学校だと思います。
コロナ渦ということもあり部活動に打ち込める期間が少なかったのが心残りです。一方で横のつながりはたくさんできたので良かったです。
こんなもんか
楽しかった、国試頑張ります
部活動に力を注ぎ、先輩後輩との交流も充実していて楽しい学校生活を送ることができました
1年生の最初の3か月まったく学生生活らしいものではなく、ひたすらオンライン授業を受けていたのが懐かしい。2学期3学期と教室で受ける講義は本当に楽しかった。3年生から部活も再開したことで上下の関係にも徐々に触れることができたが、上級生の人たちともっと関わっておけばよかったとは思う。このころから友人の集まりのメンバーもようやく固定されたと感じる。4年生以降はSEGか水泳の業務へ精を出していた記憶が多く、5年の心外実習では実習から部活に行っていたので後輩に驚かれたが、行かないと病みそうなくらい大変だった。6年の東医体で「名物審判長」となりセレモニーでマイクを握ったときの観客席の盛り上がりは忘れられない。水泳やベース、日医の枠をとびこえて豊かな人間性を養うことができたと思っている

【卒業時アンケート(2025年度)】

1.2年はオンラインも多くあったというまだった。低学年のうちからもう少し努力して勉強する姿勢を身に着けておきたかったように思う。4病院の実習で色々なパターンの医局や先生方の雰囲気を経験できました。研修は也大病院だが、ぜひ戻ってきたと思うぐらい素敵な人柄の先生が多く、とても充実した時間が過ごせました。ありがとうございました。
学業で苦戦することが多かったが、部活や友人とのかかわりにおいて非常に充実した日々を過ごせた先生方、友人にとってもめぐまれた6年間でした。コロナ渦で始まった6年でしたが、自分にとって最も充実した学生時代を送れました。関わった全ての方に感謝申し上げます。
コロナであんまりのしかなかったです
仲間と切磋琢磨しながら互いを高め合える環境でとても良かったです
研究室や指導医(ポリクリ)など良い先生が多かったです。良いことも悪いことも貴重な経験でした
大きく成長できた6年間でした。ここで学んだことを生かして付属でいち早く活躍できるようさらに精進していきます
色々ありましたが、楽しかったです
くそお世話になりました。2年後帰ってきます。
ありがとうございました
良い友人たちに恵まれ、充実した6年間を過ごせました。ありがとうございました。
楽しい大学でした
部活も実習もふり返ってみるととても楽しい毎日でした。国試は合格したいですが、働けるかが心配です。でも頑張ります。
楽しかったです、特に部活動での交流は今後の人生においても宝になるものになった
部活が楽しかったです
入学時、コロナで制限が多い生活だったが、徐々に部活なども出来るようになり最終的にはとても充実した6年間でした
良い仲間めぐまれました！第一志望の大学には入れて、6年間さまざまなことを学ことができ、とても幸せでした！
なし
お世話になりました。ありがとうございました。
楽しかった
比較的自主性の尊重される環境で自分に合っていたかなと思います
アルバイトに力を入れており、初めての社会経験が楽しかったです。
部活動が3年生になってから本格的に始めて先輩や後輩と楽しい時間を過ごせた
コロナで通常のようなスタートはきれなかったものの学友に恵まれとても有意義な6年間だった
授業、自習、部活など多くの人と多くの思い出を作れたのでよかったです
SGL室で自習できるようになったのでよかったです
部活動、研究配属での先生方等、たくさんの人にめぐまれた6年だったと思います。働き始めてからも母校に恩返しできるような人材になりたいです。
海外CCは最もよい経験となった。海外CCのおかげでこの大学に入れてよかったと思った。ぜひ今後も継続していただきたいし、もっと枠を増やしてこんな良い経験ができる学生を増やしてほしい。研究配属もよい経験となった。6年間抱えた問題として他大学と比べて教務課の仕事のスピードに疑問があった。他大学は学割を申請したら当日・翌日に返ってくるし、メールでの申請も寛容だったと聞いた。国試の申請説明会の資料も間違いだらけでずさんであったし、友人がもらったマッチング資料も誤ったものが入っていたと聞いた。ポータル上に学生利用不可の日を出すのも遅い。SGL室の利用も〇時～〇時利用不可としてほしい。ほとんど使えない日があったりかなり苦労した。
全てが充実していて楽しかったです
人に恵まれ環境に恵まれ忘れられない6年になりました
勉強になりました
あっという間でしたが、とても充実した6年間でした。楽しかったです。
コロナ渦からスタートしたイレギュラーな代であったが、低学年時はその分学業に専念し、特に肉眼解剖学などでトップの成績をとることができ、さらにその成績を活かして多数の奨学金を給付していただくことができた。3年次からは課外活動に専念し主将を兼務したり学友会長をしたりFDWSに参加したりするなかで勉強だけでは経験できない人間関係やリーダーシップなどを学ぶことができた。なんとかストレートで卒業させていただくことはできた。紆余曲折あったが6年間お世話になりました。ありがとうございました。
国試頑張ります
学業と向き合える6年だった
比較的、自由に過ごせて充実していた
友人、先輩後輩とすばらしい人間関係にめぐまれて入ってよかったと今思いました
特になし
まわりの大学よりも縦横のつながりが強いところが良いなと感じました
なんだかんだ日本医科大学は良い所だったと思う
特になし
とても充実した6年間でした
6年間レベルの高い友人達とすごせて良かったです。ありがとうございました。
日医に入学し、卒業できてとてもよかったです
先生方のご協力もあり、とても充実した6年間を過ごすことができました。今までありがとうございました。
ありがとうございました。
特に実習はこれからの将来を考える上でよい経験になりました。よい班員にめぐまれ学びも大きい1年でした
楽しかったです、特に部活動での交流は今後の人生においても宝になるものになった

【卒業時アンケート(2025年度)】

初めの1.2年はコロナで部活も勉強も友人ととることができず、歯がゆい思いでしたが、3年以降アドバイザーや研究配属などを通してとても充実した大学生活になりました。CC実習でも、先生方との距離が近く、医学に関すること以外にも様々な相談に乗ってくださり、とても刺激になりました。6年間ありがとうございました。

特に臨床実習では、学生の自主性が尊重される環境が良かった

コロナ渦入学でしたが、友人関係、部活勉強など様々なことを楽しめました

すごく楽しかった

本当に有意義なすばらしい大学生活でした

コロナ

あっという間でしたが、とても充実した6年間でした。楽しかったです。

コロナもあってはやくおわってしまった感があります。とりあえず卒業できて嬉しいです。

なし